

# 各競技で熱戦!

## 松浦市民体育大会

第4回松浦市民体育大会の、10月12日までに行われた競技の結果をお知らせします(敬称略)。

### 剣道

9月20日

松浦スポーツセンター

※道場名は次のように省略します。興星館Ⅱ興星、田代少年剣道クラブⅡ田代、松浦少年剣道クラブⅡ松浦、今福少年剣道クラブⅡ今福、鷹島少年剣道クラブⅡ鷹島、松武会Ⅱ松武

- 〔形の部〕
- 〈小学生低学年の部〉
  - ①池野ひかる・増山由莉(興星)
  - ②本間史紘・福浦和樹(今福)
  - ③坂田光希・池田光騎(興星)
  - ③坂田寿輝・市山さくら(興星)
- 〈小学生高学年の部〉
  - ①宮木武蔵・松坂拓海(興星)
  - ②倉橋里歩・若松菜緒(興星)
  - ③荒木皆人・坂田光(興星)
  - ③井元綾汰・山口菜々子(田代)
- 〈中学生の部〉
  - ①白波重義・寺山朋徳(田代)
  - ②入口亜寿佳・宮木真由(興星)
  - ③白波素直・井元琴音(田代)
  - ③下田鴻亮・倉橋賢多(興星)



- 〔個人の部〕
- 〈小学3年生以下〉
  - ①池田伊織(興星)
  - ②池田光騎(興星)
  - ③増山 凜(興星)
  - ③白波朋佳(田代)
- 〈小学4年生〉
  - ①増山由莉(興星)
  - ②本間史紘(今福)
  - ③市山さくら(興星)
  - ③前田圭介(鷹島)
- 〈小学5年生〉
  - ①坂寧々花(鷹島)
  - ②呼子明香里(松浦)

- ③末竹美優(松浦)
- ③谷口雄大(鷹島)
- 〈小学6年生〉
  - ①松坂拓海(興星)
  - ②宮木武蔵(興星)
  - ③荒木皆人(興星)
  - ③柳本真紀(鷹島)
- 〈中学女子〉
  - ①山口薫子(田代)
  - ②大野花華(興星)
  - ③入口亜寿佳(興星)
  - ③田中 楓(田代)
- 〈中学男子〉
  - ①白波重義(田代)
  - ②林健二郎(興星)
  - ③大石 翼(興星)
  - ③下田鴻亮(興星)
- 〔団体の部〕
- 〈小学生〉
  - ①興星館A
  - ②鷹島少年剣道クラブ
  - ③興星館B
  - ③田代少年剣道クラブ
- 〈中学生〉
  - ①田代少年剣道クラブA
  - ②田代少年剣道クラブB
  - ③興星館A
  - ③今福少年剣道クラブ

### 軟式野球

9月20日、27日

市民運動公園、松浦東高校、ニッチツ野球場

- ①JAPON2009
- ②アベックス



### バスケットボール

10月3日、4日

松浦スポーツセンター

- 〔ミニ男子〕
  - ①志佐小
  - ②相浦西(招待)
- 〔ミニ女子〕
  - ①早岐(招待)
  - ②志佐小
- 〔中学男子〕
  - ①志佐中
  - ②御厨中
- 〔中学女子〕
  - ①調川中
  - ②御厨中



### ソフトテニス

10月4日 市民運動公園

- 〔高校・一般男子〕
  - ①Y・burn
  - ②松浦クラブ
- 〔高校・一般女子〕
  - ①志佐中女子合同
  - ②松浦高校
- 〔高校・一般男子〕
  - ①永岩鋭郎・橋口祐治(一般)
  - ②浜本竜二・国生賢吾(一般)
  - ③井手康隆・玉井秀男(一般)
  - ③寺澤慶太・久住昌晃輔(松浦高校)
- 〔高校・一般女子〕
  - ①安達まなみ・熊本千咲(松浦高校)
  - ②豊村仁美・久家由布紀(松浦高校)
  - ③三浦由美子・山口重子(一般)
  - ③山岡綾美・廣山亜里沙(松浦東高校)

### 中世の松浦 (12) 鷹島海底遺跡

左の写真は平成元年度に行われた床浪港改修工事に伴う周辺海域の排土採掘中に発見された湖州鏡です。稜花形をした完形品の鏡で、直径は10・6センチ、重さ180グラムで、保存状態も良く、かなり早い時期に海底下に埋没したものか、腐食もあまり進行していませんでした。鏡の背中央には鈕と呼ばれる紐通しの突起があり、その横に鑄出された二行にわたって記銘があります。そこには「湖州真石家念二叔照子」と書かれています。「湖州」は産地、「石家」は鏡の鑄造者を表しています。産地は現在の中国浙江省興甌路で、もともと湖州は、後漢中葉以来から鏡の鑄造が盛んに行われた場所です。特に宋代を代表する湖州鏡は、大量に製造され、日本でも最も出土例の多い宋代の鏡です。県内では対馬市、五島市などで発見されています。

鷹島海底遺跡から宋代の鏡が発見されたことは、重要な意味を持っています。すなわち弘安の役において、鷹島周辺で殲滅した蒙古軍の主力部隊である南宋降兵で編成された江南軍に従軍した南宋兵士の持ち物である鏡と考えられます。



▶湖州鏡(鷹島歴史民俗資料館に展示中)

### フィオナ先生 (オーストラリア出身)



### Welcome to Okinawa めんそーれ沖縄

日本人の皆さんに日本国内でどこが好きかと尋ねると、多くの方が「沖縄」と答えます。私も多くの人から沖縄はビーチが美しいと聞いていましたが、松浦市内や周辺にもたくさん良いビーチがあるので、沖縄まで行って泳ぐ必要はないと思っていました。しかし、実際に行ってみて私の考えは間違っていることが分かりました！



一番楽しみにしていた沖縄美ら海水族館では、ジンベエザメが大きな口をあけて、口に入ってきたもの全てをのみ込む様子を見ました。あの様子は忘れられません。本当に驚きました。

また、1日は誰もいないビーチに横になって、読書をしたり、日光浴をしたり、美しく澄みきった海で泳いだりして過ごしました。このプライベートビーチは、万座毛岬に行く途中に見つけました。ありがたいことに、滞在中はずっと良い天気でした。

ある夕方には、沖縄民謡のショーを見に行き、三線の音が大好きになり、カラオケで歌うために沖縄の歌を覚えたいと思いました。

ほかには、地元の人々にぎわう焼き鳥屋に行きましたが、人々が話している言葉は一言も理解できませんでした。

沖縄で驚いたことは、日本のほかの地方みたいには、食べ物がそれほどおいしいとは思わなかったことです。私の考えが偏っているのかもしれませんが、ラフテと呼ばれる沖縄の角煮よりも長崎の角煮の方がおいしいと思いました。

でも、沖縄は正にパラダイスでした。次に行くときは周辺の島々を訪れてみたいです。